

極端かも知れませんが、僕は金沢市中央倫理法人会モーニングセミナーは、「中央の中央による、中央のためのモーニングセミナー」であっていいと思っています。

**高田** ● その通り。能美市のモーニングセミナーも能美市の会員さんだけでもいい。ナイトセミナーも能美市のホット会員の方だけで会場を一杯にできたらいいんです。そうはいつでも、なかなか現実には厳しいですからね、みなさん能美市のモーニングセミナー、ナイトセミナーにも来てくださいね！（笑）

**中野** ● 須藤さんは、引き続き普及拡大委員長をなさるのですよね。

**須藤** ● 私は1年間普及拡大委員長として、それなりに全力でやってきたつもりでしたが、全然足りないことに気がきました。

反省することは、多々あるのですが、中でも山中副委員長とうまく連携できなかったことがもったいなかったなと思ってます。山中さんは、本当に頑張り屋さんで、彼女の力を生かせなかったのは僕の責任だと反省しています。

**高田** ● 山中さんの熱意は半端じゃない。熱意が人を動かすんです。

**須藤** ● 来期は、もっと山中さんとコミュニケーションを密にして、会長

さんが王道の普及ができるよう力を合わせて全力で応援したいと思っています。会長さんの抱えている問題は普及に限らず何でも相談してください。私たちにできることであれば何でもしたい。会長さんと信頼のパイプを築き、一緒になって汗をかきたい。王道の普及第4章を僕の普及拡大委員長としての最終章と位置づけ有終の美を飾りたいと思っています。



会 員 紹 介

能登・金沢・加賀の3つのエリアから毎号4名の会員をご紹介します。

金 沢 エリア



金沢市中央倫理法人会 会員  
 せがわ のりあき  
**瀬川 憲章**さん  
 株式会社マナコーポレーション 代表取締役

人は鏡。変わるべきは己自身

僕はたまたま手にした職場の教養に惹かれて入会しました。在籍期間は22年と長いですが、MSに行き始めたのは、ほんの5、6年前からです。社員がすぐに辞めてしまう状況を改善したいというのが動機でした。それまでの僕は社員の定着率の悪さを自分の責任だと受け止められず、人を変えようとばかりしていました。でも先ず変わるべきは自分だったんです。そのことに気づいてからは、彼らのことを何一つ分かっていなかった自分を反省し、コミュニケーションをとるよう心掛けました。一人ひとりと接する機会が増えるように誕生日にお祝いをしたり、給料日には手紙を書いたりしています。会社とは単純に利益を生み出すだけの存在でなく、社員の幸せのためにあるんですよね。輝く人、輝く会社、輝く社会の実現に向けて、これからも感謝の心を忘れずに、謙虚に一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。

金 沢 エリア



金沢市倫理法人会 会員  
 かいどう としお  
**海道 俊雄**さん  
 永野印刷株式会社 グラビア印刷課  
**精神鍛錬のために、MSは欠かせません**

MSへは週3回欠かさず参加します。毎回講話の内容はメモにとり、自分に必要だと思うことは何度も読み返します。僕にとっては財産のようなものですね。MSに通うことで感じるの、継続することの大切さです。仕事や家庭でプレッシャーを感じるような困難に直面しても、一つのことを続けていこうとする姿勢が、逃げ腰にならずに、立ち向かおうとする気持ちを強くしてくれるように思います。入会してから6年の間には親族・家族間の不和や、仕事のことで色々悩むことがありました。気持ちを持ち直すことができたのはMSでの学びと実践があったからだと思います。週1回の墓参りと自宅のトイレ掃除を始めて4年が経ちますが、小さな揉め事がなくなり、家族仲が良くなりました。これからもプレッシャーに負けない精神力を培うため実践を続けていきます。

能 登 エリア



七尾市倫理法人会 幹事  
 いしだ しげき  
**石田 茂樹**さん  
 建築工房 樹(みき) 代表

天使のような寝顔に、ようやく至れた境地

小学3年生の次女は知的障害を伴う重度の自閉症で、さらに多動もあり、まだ言葉でコミュニケーションをとることができません。家の窓ガラスなどを壊れるまでたたき続けてしまうこともあり、四六時中目が離せません。つい感情的になって叱ることもありますが、本人に悪気は全くないので、叱った後から自責の念に苛まれることもしばしばです。「どうしてこの子が生まれてきたのか？」そう思うこともありましたが、倫理に行き始めて3年、次女の天使のような寝顔を見ながら、最近ようやく「この子はいつまでも子育てを楽しませてくれるために生まれてきたんだね」と夫婦で言い合えるまでになりました。ただでさえ忙しい朝に、快くMSに送り出してくれる妻には心から感謝しています。成長するにつれ、益々子育ては難しくなりますが、家族仲良く力を合わせ乗り越えて行かなければと思っています。（写真は三女のこころちゃん）

能 登 エリア



奥能登倫理法人会 運営委員  
 さかもと しゅういち  
**坂本 秀八**さん  
 有限会社鮮の会

心の雑草を取り払い、毎日に「ときめき」を！

毎朝心の健康のため、県内の何れかのMSに参加しています。人生経験豊かな方たちの講話やスピーチを聞くことで、心の雑草が取り払われ「株式会社自分」が成長できます。昨年の秋には県内12会場全てを回りました。各会場で出会う魅力的な方たちとお話するたびに、私はいつも「ときめき」を感じます。62歳になった今でもこうして元気に仕事ができるのは、いつでも元気の源である「ときめき」を持っているから、そして周りの人のサポートがあるからだと思っています。遅刻しても「ご苦労さん」と迎えてくれる社長や、離れて暮らす家族の理解、多くの教養を与えてくれる友人の皆さんに心から感謝しています。「あなたに逢うために、あなたの笑顔を見るために」この思いだけでMSに参加していますので、皆さん、私の顔を見たら素敵な笑顔を見せてください。



倫友対談  
一語一会

## 「明朗は健康の父、愛和は幸福の母」

(明朗愛和)



倫友同士のとおきの会話をお届けする「一語一会」。毎回、万人幸福の葉十七箇条から一語を選び、それをテーマに語り合ってください。今回は、2014年度の活動を終えたばかりの須藤信行普及拡大委員長と、各単会を代表して中野晴行金沢市中央倫理法人会会長と、高田典英能美市倫理法人会会長にお集まりいただき、当会の普及拡充について語り合ってくださいました。

### 何のための普及か？その意味を考える

**須藤** ● 2014年度の石川県の普及活動は、県の鳥にちなんで1284社「1284」を目標に掲げながらも、6月11日現在で1225社と残念ながら県全体では達成できませんでした。単会でみますと、達成できた単会が9つ、未達に終わった単会が3つという結果でした。中野晴行会長の金沢市中央は、県内でもトップで目標を達成されたわけですが、今期の普及拡充を振り返っていただけますか？

**中野** ● 目標は達成できましたが、課題が残る普及活動でしたね。もっと取り組みにおいて役員同士の一体感が欲しかったですね。

**須藤** ● 高田会長は、なかなか苦戦されていたようですね。

**高田** ● 能美市は目標を達成できなかった単会の1つですね。私が何事も納得しないと動けないという性格でして、リーダーである私が引っ張っていかなければいけないとは思っていたのですが、「何のための普及か」という普及活動の意味が腑に落ちるまでに時間がかかってしまいました。

**須藤** ● 「何のための普及か。」これは重要な問いですよ。これをクリアにしないと、行動にうつせないですよ。

高田会長は、福井県で開かれた普及拡充北陸方面会の後、

「これで、やっと普及拡充の意味がわかりました。腑に落ちました。」とおっしゃっていましたね。それから行動がガラッと変わられた気がしました。

**高田** ● そうですね。中野会長も発表されていたのですが、そのお話を聞いて自分の中にあった霧が晴れた気がしました。前から疑問に思っていたのですが、どうして普及に対してネガティブな感情を持っている方が多いのだろうと。倫理の良さが分かれば分かるほど、普及したくなるはずでしょ。しかし、いつの間にか普及がノルマようになってしまっている。

普及活動の締め切りから2、3ヶ月で退会される会員が非常に多いです。ノルマをこなすために無理矢理入会してもらっているからだと思うのです。せっかくご縁があったのに、そんな短期間では倫理の本当の良さが分かるはずがありません。能美市では過去に、9社入っていたきながら7社が抜けてしまうという例もありました。普及の動機がおかしいんだと思いました。間違った動機のために、もつれた我々役員的心をほどこいて普及に対してまっすぐな気持ちをとるもどすことからはじめました。

**須藤** ● 根気のいる仕事ですね。僕の動機は明確なんです。「恩返し」です。僕は入会させていただいたお陰で本当に人生が良くなった。仕事も順調です。今の僕があるのは、倫理のお

かけです。僕以外にも、倫理に入って人生が好転した例をたくさん見てきました。それを人に教えてあげることが、倫理法人会やみなさんへの恩返しになると思っています。

**高田** ●「明朗こそ、まず己が救われるともしびであり、己のかかげたこの灯火で、ひともまた救われる。そして世の中が光明にかがやいて来る」万人幸福の葉の一節ですが、これこそ普及活動の意味なのではないでしょうか。

## 王道の普及第3章

**須藤** ●確かにこれまでは、とかく会員を増やそうと、拡大路線で進んできました。果たしてそれでいいのか。倫理を理解し、共感できる会員を増やしていくことが本来の普及のあり方、なのではないだろうか。「王道の普及」をしよう、という風に昨年度あたりから普及に対する考え方が変わってきました。それまでは普及拡大と言っていたのですが、「拡大」という言葉が良くないのではないかということで、拡げ充実させるという意味を込めて「拡充」というようになりました。今年が3年目、王道の普及第3章にあたります。

高田会長のなさっていることは、まさに王道の普及。真摯な姿勢、熱い思いに、私も胸を打たれました。おそらく、高田さんの思いに共感された会員さん、幹事さんも多かったのではないかと思います。しかし、少し時間が足りなかったのかな。残念に思いますね。

**中野** ●高田さんの考える王道の普及とは？

**高田** ●一言で言うと一緒に勉強しませんかってことですね。

倫理法人会の歌「夢限りなく」の歌詞にもあるじゃないですか。



普及拡充が本当に好きなんです。入会当初から、自然と仲間を増やしていたんです。人との出会いはそれだけで価値があります。その機会が与えられるのが普及活動です。日頃出会えないような方とも、お近づきになれる。倫理実践の中でも一番勉強になります。この出会いをいいご縁にしたいな。

石川県倫理法人会 普及拡大委員長  
株式会社あどべん太 代表取締役社長

すどう のぶゆき

須藤 信行氏



『倫理(みち)につながる まことの友よ  
ああ この国の 誇りかかげて  
夢をつたえる われらのつとめ』  
この2番が、普及そのものだと思います。

**中野** ●なるほど。僕は、もっとシンプルに「仲間作り」だと思っています。

**須藤** ●「仲間作り」って言葉いいね。普及よりずっといいわ。

**中野** ●幹事の中にも倫理や、モーニングセミナーは好きだけど、人に勧めるのは苦手な人もいらっしゃる。金沢市中央の役員に僕が言っていたことは「きっかけ作りとして、とにかくモーニングセミナーへ連れてきてください。モーニングセミナーを体験してもらえたら、きっと何かを感じてもらえるはず。入会していただくのは、その後でいい」って。

**須藤** ●それ大事。ハードルを低くしてあげないとね。「絶対申込書をもらってくるんやぞ」なんて言われたら、「無理!」って思うしまうもんね。

**中野** ●金沢市中央では、チーム制にしています。3、4人のチームを作って、チームごとに目標を設定しました。

**高田** ●どうやってチーム分けをしたのですか？

**中野** ●リーダー格を最初に決めて、その人に合いそうな人や、おもしろい化学反応が起こりそうな人を組み合わせました。まあ、だいたい僕らの勘ですけどね。

## 役に徹する

**須藤** ●なるほど、そのあたりに中央の秘密がありそうですね。中野さんの普及のモチベーションは何ですか？

**中野** ●モチベーションと問われると困るのですが、僕は倫理法人会の中野晴行を演じているだけなんです。役員を受けた以上は、しっかりとその役割をやり遂げなければならないと思うんです。私は、幹事を2年、その後専任幹事を2年務めました。幹事にも、専任幹事にも、そして会長にもそれぞれの役割があると思う。例えば、専任幹事なら会長が立てた普及目標を達成するため、各役員をまとめ動かして行かなければな

らない。そこに、個人としての中野晴行の意見はないです。役に徹しなければならぬ。金沢市中央倫理法人会会長の中野晴行として、123社拡充を決めたのであれば、それに向けてやらなくちゃいけません。

**高田** ●中野さんは、真っ先に宣言されますよね。勇気のいることだと思うのですが。

**中野** ●宣言するのは、わかりやすいゴール設定してみんなを引っ張っていくためなんです。

**高田** ●目標を達成するためには、誰かが引っ張って行かないとですよ。

**中野** ●倫理法人会の悪いところは、仕掛けが遅いところですね。やることは決まっているのに、何かと理由をつけて問題を先延ばしにしてしまう。普及活動も、そうやって締切間際に3ヶ月お試し会員をたくさん作ってしまう。それはよろしくない。

金沢市中央のスローガンは即行即止なんです。誰も宣言しないなら、まずは僕が、金沢市中央が動こう、と。そうすればつられて動く会が出てくるのではないかと思ったわけです。

**須藤** ●そしたら、金沢市西が上手い具合に、挑発に乗ってくれたよね(笑)。

**中野** ●そうすると、「西に負けるな!」ってこちらも盛り上がるじゃないですか。金沢市西さんだけでなくみんなが、上手に乗ってくれば、県全体が盛り上がると思うわけです。

**須藤** ●素晴らしいですね。

**中野** ●役に徹しただけですよ。

**高田** ●名優ですよ。それもただの名優ではない。「うまいと拍手されるような事ではだめだ」とありますからね(笑)。

## 心を合わせる、単会の雰囲気作り

**須藤** ●普及拡充では、会の雰囲気作りが重要だと思っています。雰囲気作りがすべてだといっても過言じゃない。

私が金沢市倫理法人会に入った頃は、田村広報委員長が会長をされていたのですが、役員会の半分は普及に関する情報交換でした。毎月の目標を絶対に達成するんだ、という田村さん

の「本気」がビシビシ伝わってきました。毎月の目標を達成していくと、締切の頃には残り数社にまで減っていますから、無理なく1番で達成できるわけです。良い見本を見せていただいたと思います。

**中野** ● 今も、年度のはじめりに活動計画を立てていますよね。僕もそれに則って動いています。



金沢市中央倫理法人会のもう一つの強さの秘密は、女子力です。女性は、その気になるとすごいパワーを発揮しますよ。来期は金沢市南、七尾市、金沢市みなとの3つの単会で女性会長が誕生するそうです。男性にはない細やかな感性と愛和の心で、きっと良い変化をもたらしてくれるはずですよ。

金沢市中央倫理法人会 会長  
有限会社ジョイテル 代表取締役

なかの はるゆき

## 中野 晴行氏

**高田** ● 能美市でも、毎月毎月の目標を定めているのですが、「死守する」というまでの強い思いはなかったですね。締切が迫ってくると、「やっておけばよかった」と後悔するばかりで…。

**須藤** ● 中野さんのところは雰囲気作りを上手くしていたと思う。先ほど、中野さんは「中央は一体感がなかった」とおっしゃっていましたが、一番一体感があったと思います。役員さんたちが「ウチの中野晴行を男に、せなならん」で口々におっしゃってましたよ。

**高田** ● 中野会長を見ていて感じるの、役員さん、会員さんを愛しているなということ。愛しているから、その愛が言葉や応援になって返ってきている。それに比べると、僕は愛したつもりになっていただけ、みんなは愛されていると感じられなかったのだと思います。もっと愛さなければいけない。

**須藤** ● 愛するってどういうこと？

**高田** ● 役員さん、会員さんへのちょっとした目配り、気配りですよ。

**須藤** ● なるほど。役職者の心得に「会長と心を合わせ」って書いてありますよね。でもその前に、会長がみんなに心を合わせるという気持ちがないとだめなんです。「おい、俺にあわせろよ」という態度の会長だと、やっぱり心を合わせたいなんて気持ちになれませんよね。

**高田** ● 中野会長のように、みんなに目配り、気配りをしていると、みんなは当然、会長に合わせ

てきますよ。そういうことを実践しているような気がしますね。

## もっと自単会の会員さんを大切に

**須藤** ● 最後になりますが、みなさんの来期の目標をお聞かせください。

**高田** ● 能美市倫理法人会の目標は、100社ですね。現在67社ですから、あと33社。大変な数字です。能美市のみなさんのお力を借りないと達成できません。ですから、1年目同様、拡充に対するネガティブな考えを根気よくほどいて、普及活動に前向きな会へと変えていきたいと考えています。

あと、小松市の濱本会長が、「能美と加賀と小松で300社、加賀エリアという枠組みでスクラムを組んでがんばっていこう」なんて格好いいこと言ってくれていて、うれしかったですね。来期もがんばろうという気持ちになりましたね。

**須藤** ● 中野さんは、会長の任期を満了されますが、後任の方へのアドバイスなどありましたら。

**中野** ● 来期は相談役になります。目標社数については、次の会長にお任せするとして、夏以降の退会者の穴埋めを、まずはしなければと思っています。

毎年のことですが、秋になるとおつきあいが入会された会員さんが退会されますよね。理由はいろいろ有ると思いますが、最大の理由はモーニングセミナーに来て仲間がいないくてさみしいから、つまらないからだと思います。僕にもそういう時がありました。

僕が倫理と出会ったのは、創業10年目で、自分に変化をつけたいと考えていた頃でした。自分を変えるには、今までと違うことをするのが一番。朝が苦手だったので、モーニングセミナーに参加することで今までと違う新しい中野晴行に出会えるのではないかと思います。

でも、入会した頃の頃は食事の時もぼつんと1人。辞めようかと思ってたこともありました。

**須藤** ● 放ったらかしってこと？

**中野** ● 大概みなさんそうじゃないですか？入会させるだけさせておいて、入ったら「はいお終



先日の講話で「本末転倒」の意味を知りました。学問には「本学」と「末学」があるそうです。本学とは倫理のような真理や、道学ぶ学問。末学は経営など技術を学ぶ学問。本学より末学が重要視される現代は、まさに本末転倒な時代といえます。そんな時代だからこそ、倫理の良さを伝えたいですね。

能美市倫理法人会 会長  
大同建設株式会社 代表取締役

たかた

のりひで

## 高田 典英氏

い」。そこからフォローする人がいない。

だから僕は、新入会員を見かけると、朝食食べているかどうか注意して見えています。ぼつんと孤立していたらこちらから話しかけるようにしています。僕のようなさみしい思いをさせちゃだめなんです。

退会される方は、「おもしろくない」「価値がない」とおっしゃる。会員である価値に気付かせられない僕が、そしてみなさんがよろしくない。

モーニングセミナーの来場者の内、自単会の会員はどれくらいいるのでしょうかね。

**高田** ● いいところ3割じゃないですか。

**中野** ● もっと自単会の会員さんを大切にしなければいけないと思う。モーニングセミナーにいらっしやらない方にどうやって声をかけるか、それが相談役としての役割になって思っています。

